

「恵方巻き」の大量廃棄に関する実情と提案について

団体名： Stop!えほロス campaign （代表 岸本華果）

○趣旨

近年マスメディアを含む各所で報道されている、恵方巻きの大量廃棄について、市民の声の実情をお届けするとともに、日常的な食品ロスを削減していくための取り組みを提案いたします。

私たちは、恵方巻きの大量廃棄に反対する市民キャンペーン”Stop!えほロス campaign”(2019年1月27日-同年2月11日)を実施しました。(詳細：取組事例)

私たちは、市民の皆さんが、恵方巻きの大量廃棄を入り口として日常的な食品ロスについても考え、行動するきっかけにしたいという思いから、このキャンペーンを始めました。当キャンペーンに寄せられた市民の声を、食品ロス削減に向けた法案作成や指針策定など、今後の貴庁の取り組みに役立てていただければ幸いです。

また、私たちからも、日常的な食品ロス削減に向けての3つの具体案を提案させていただきます。

【提案】

①市民が意見を寄せる掲示板や投書欄の設置

一般市民が当キャンペーンのようなかたちで食品ロスに対する意見を表明することのできる、掲示板や投書欄のような場を作る。

<期待する効果>

市民の中に食品ロス削減のムーブメントをつくっていくことができる。食品ロス削減に取り組む事業者や、貴庁をはじめとする関係団体は、食品ロスに対する市民の声をリアルタイムで入手できる。

②食品ロス削減に取り組む事業者や個人の認定制度設定

食品ロス削減に取り組む事業者や個人を認定し、表彰する制度をつくる。飲食店が店頭に掲げられるような認定証を作成する。

<期待する効果>

認定証が、市民がお店を選ぶ際の判断材料になることで、食品ロス削減のための行動をとりやすくなる。認定を受けた飲食店や小売店は、認定があることで見切り販売や顧客への協力の呼びかけ等がしやすくなる。

③食品ロス削減への意欲を表明するマークの作成

食品ロス削減に取り組みたいと思っている市民が、その意欲を表明するためのマークを作り、バッジやステッカーなどに印刷して普及させる。

(EMPOWER project による「マゼンタスター」を参考にしています。

<http://empowerproject.jp/>)

<期待する効果>

市民の中に食品ロス削減のムーブメントをつくっていくことができる。飲食店や小売店で、消費者が自ら食品ロス削減への意欲を表明できることで、見切り販売や顧客への協力の呼びかけ等がしやすくなる。

以上